

台東区在宅療養支援窓口通信

令和2年11月号 No. 5

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



新型コロナウイルスが流行ってから感染が心配で、家から出たくありません。父親の受診も新型コロナウイルスへの感染が怖くずっと連れて行っていません。電話受診で薬だけもらい、検査も受けていません。医師からそろそろ本人を連れてくるように言われました。検査を受けていないことも心配です。

<支援内容>

受診をしないことによる影響や新型コロナウイルスへの対応について説明しました。

- ①新型コロナウイルス感染はいつまで続くかわからないため、長期間受診や検査をしないことで、病気の悪化や病気の発見が遅れることがある。
- ②病院では感染対策がとられているため、通院で感染する可能性は低い。
- ③お互いにマスクを装着することや距離をとる等の対策をとることが大事。

<相談者の反応>

半年ぶりに、父親と一緒に受診をし、血液検査を受けました。

家から出るだけで感染してしまうという長男の過剰な反応は、正しい知識が乏しかったためだと感じました。正しい知識を得たことで感染に対する恐怖心は軽減されたように思います。また、外来通院での感染報告がないことを知り、対策をとりながら診察を受けさせようと前向きな気持ちになれたように感じました。

受診をすることは大切なことです。正しい感染対策をとり、受診をしましょう。

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。
ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う**
(手指消毒薬の使用も可)。

*厚生労働省ホームページ「新しい生活様式」

マスクの外し方

- ①ゴムやひもをつまんで外します。
※マスクの表面にはさわらない
- ②ゴミ箱に捨てます。
※蓋付きのゴミ箱がおすすめです。
- ③手を洗います
(アルコール手指消毒でも可)。



在宅療養支援窓口では、在宅療養における医療面を中心とした様々なご相談に応じます。

ケアマネジャーや医療関係者・医療機関のサポートも行っております。是非窓口へご相談ください！

台東区在宅療養支援窓口 電話：(5603) 0235